

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2009年11月2日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.61】

## 革マルの潜り込み戦術を裏付けるNTT顧客データ漏洩事件！

1998年1月に摘発された革マル派「豊玉アジト」の押収物からは、国鉄改革に伴いNTTに再就職した元動労組合員が、通話記録を盗んで同派に渡していたという衝撃的な事実が明らかになった。1999年11月2日、新聞各紙は一斉にこの事件を大きく報道した。

対立過激派の通話記録盗む NTT社員ら革マル派に協力 警視庁逮捕

警視庁公安部は2日、革マル派活動家に協力して敵対する過激派の通話記録などを盗んだとして、NTTドコモの設備建設部職員YとNTT東日本の東京支店お客様サービス部職員I両容疑者を窃盗容疑で逮捕した。調べによると、Y容疑者は革マル派の非公然活動家らと共謀し、1997年12月下旬、東京都中央区のNTTドコモのサービスセンターで、I容疑者は同じころ、目黒区のNTT東京支店で、それぞれコンピューター端末からデータを引き出し、印字して盗んだ疑い。盗まれたのは、革マル派に敵対する過激派の幹部や、JRグループの経営幹部と労組幹部計10数人のデータ。契約内容や発信場所、通話相手の電話番号などが記録されていたという。公安部は、革マル派活動家が、敵対セクト幹部らの動向を探るため、Y容疑者らにデータを盗むよう指示したと見ている。Y、Iの両容疑者は元国鉄職員で、87年4月、国鉄分割民営化に伴って退社し、翌年4月、NTTに再就職していた。【読売新聞夕刊】

NTT社員ら2人逮捕 顧客情報盗み革マル派に

-(前略)-公安部によると、盗み出した資料は数十枚に及び、98年1月、練馬区豊玉の革マル派アジトへの家宅捜索で押収。Y容疑者が、豊玉アジトに出入りしていた同派メンバーと数回にわたり接触、印字した資料を渡していたことが分かった。公安部によると、革マル派が敵対するセクトのアジトの電話を傍受した際に、会話の中で出てきた電話番号の契約者などを二人に調べさせていたという。-(後略)-【共同通信配信】

この事件の刑事裁判は、東京地裁で23回の公判の後、2002年4月30日、2名に有罪判決(Y被告：懲役2年4月、I被告：同1年8月、それぞれ執行猶予5年)が言い渡されたが、両名は控訴せず判決が確定した。Iは元国鉄東神奈川電車区出身、Yは同大宮機関区出身で、いずれも動労に所属。国鉄改革で退職した動労組合員がNTTに再就職し、革マル派の非合法の調査活動に協力していたこの事件は、国鉄改革を利用した革マル派のNTTなど他産業への潜り込み工作の存在を示す何よりの証拠であるといえる。また、盗んだデータにJRグループの経営幹部と労組幹部のものも含まれていたことは、同派のJRへの浸透をさらに裏付ける証拠でもある。次号で引き続き検証を深めたい。

NTT事件の代理人はJR総連・東労組裁判の担当弁護士と同一人物！

JR連合は、JR革マル問題に関わる重要事件とみて公判を傍聴したが、常に革マル派とみられる者が何名か傍聴し、時折、JR連合の傍聴者に因縁をつけてくるなどした。また、元東労組中央執行委員の本間氏の裁判証言などから革マル派の党中央を代理していたとみられるW弁護士(M法律事務所)が、被告代理人として熱弁を振るっていた(No.48参照)。さらにJR総連・東労組関連の複数の裁判の代理人を務め、東労組の顧問弁護士でもあったM・S氏、N・T氏、M・M氏も、この事件の代理人に名を連ねている(No.49参照)。

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>